

広徳寺通信

LETTER FROM KOUTOKUJI TEMPLE

63

2016年春号



▶ 春のお寺の様子！

▶ 春のお寺参りが行われました

3月16日(水)に、恒例のお涅槃会と春彼岸会が行われました！今年は雪も少なく、お墓参りに来られた方が多かったようです。

▶ チェンバリズム！コンサート

昨年自然塾に続き、「チェンバリズム！」の方々に春のお寺参りの後、演奏をしていただきました。普段接することのない音楽を間近で味わうことができました！

▶ 成年会・婦人会合同懇親会開催

4月19日(火)に成年会・婦人会合同懇親会をグリーンピア大沼で開催しました！みんなカラオケで大盛り上がり、楽しい1日となりました。

5月2日(月)夜7時からBS日本の旅番組に広徳寺が出ましたよ。俳優さんの突然の訪問に驚きましたが、その時お寺で遊んでいた小学生たちと一緒に坐禅をしました。ご覧になった方はいますでしょうか？お寺参りで様子を放映したいですね。

▶ 春のお寺の行事予定

▶ 梅花流詠讃歌

毎週土曜日 午後1時半～3時半
毎週の練習会の他に、講習会や検定会、大会に参加します。

▶ 写経

毎月第2日曜日 午後3時～4時
筆をもって心静かにシャンとする。
5月1日(日)・6月12日(日)

▶ 婦人会

毎週火曜日 午前9時半～11時半
お寺参りのお手伝いの他、毎週火曜に手芸などのお楽しみ会を開催。成年会との懇親会(温泉)や忘年会もありますよ。

▶ 朝ヨガ

毎月第3木曜日 朝5時45分～6時45分
朝のひとときをお寺で過ごしませんか？
5月19日(木)・6月16日(木)

▶ 坐禅

毎月第3日曜日 午後4時～5時
たまにはリンと背筋を伸ばしてすわりましょう。心が改まります。
5月15日(日)・6月19日(日)

tel 0138-73-2032

※日程が変更することがあります。事前にお問い合わせください。
※気軽に手ぶらでお越しください。

▶ お寺の庭より - お寺の日々をつれづれに

！あたらしくお寺でお勤めすることになった高田さんの紹介です！

こんにちは。高田一期(いっき)と申します。酒どころ出身ということで、すごくお酒が強いと勘違いされがちですが、あまり得意ではございません。人と話すことは好きなのですが、人見知りのため、話しのキャッチボールもあまり得意ではありません…。ですが、月参りに参加させていただくようになり、気さくに話しかけて来て下さるお檀家さん方のおかげで、素直に楽しくお参りさせて頂いてます。

小学校から高校まで野球部だったので、体力仕事には自信があります。というかそれしか出来ません。野球をやめてからは食事の量はそのままに、運動量が減ってしまったため激太りし、今に至ります。どこかで見かけましたら、話しかけていただくとすごく嬉しいです。私もお檀家さんを見つけたら勇気をふりしぼって話しかけたいと思いますので、よろしく願います。

僧侶 高田一期



高田一期

無骨なたたずまいはまさに戦国武将！

「たかだ いっき」
ついに来ました平成世代
永平寺に丸3年修行してから、この春3月より広徳寺に勤めていただくことになりました。毎日の月参りのほか、作務(掃除)も真面目にがんばっています！
平成元年8月22日岩手県盛岡市生まれ。秋田県鹿角市育ち。好きなタイプはショートヘアの女性。お師匠様のお寺は秋田県鹿角市の祝融山萬松寺(しゆくゆうざんぼんしょうじ)。

▶ 仏事 Q&A - 仏教や仏事についてのご質問にお答えします。

Q お仏壇とはなんですか？

お 仏壇をよく見てみると、お寺の本堂とよく似ています。というのは、お仏壇は言わば本堂のミニチュア版。本来は毎朝、菩提寺の本堂に線香とろうそくを持ってお参りに行くのですが、日本では古くから、各々の自宅に小さな本堂を設けてお参りします。それでも、菩提寺のご本尊様へのお参りも忘れたくないものです。



POINT

お仏壇のご本尊様にお参りするということは、お寺のご本尊様にお参りするということ。

▶ ミニミニ法話 - お檀家さんのおしゃべりで気づいたこと

ひとは他人には言えない悩みを抱えて生きている。

と うさんはトシのわりに健康だよね。そう私が言うと、そのお檀家さんは「いやね、外歩いていると近所からも、お元気ですよって言われるんだけど、じっさい、心臓もやっちゃって腎臓も足腰も悪いんだ。ただそれでも、頑張って散歩しているのよ。車だって他人に事故起こしたらと思ってやめたしね」。見かけは健康そうでも、みんなそれぞれ他人には言わずとも、悩みをもって生きている。そう思うことが、他人への思いやりにつながるのかな、自分の背筋をピッと伸ばすことにつながるのかな。

▶ コトノハ ヒロバ - 力をわけてもらえる言葉をあなたに

kotonoha hiroba

マッカーサー元帥が座右の銘として執務室に掲げていたという詩の一節。どんなであって心身のキラキラだけは失いたくないです。副住職の意識ですので、悪しからず。

青春とは人生のある一時ではなくて、それはひとつの心のもちかた。バラのような頬、しなやかに跳躍する足にあるのではなくて、それは生きることへの信念、ゆたかな想像力、感動できる力のこと。青春とは、人生の奥深いところからわきいでてくる泉が、いつだってキラキラしていること。

青春

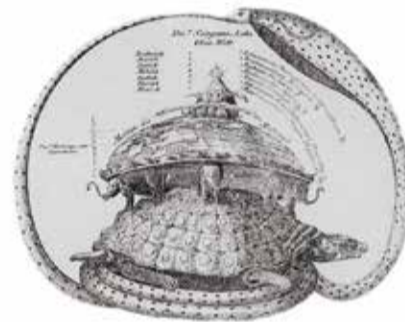
サミュエル・ウルマン

Samuel Ullman

POINT

世界の中心である須弥山に見立てたのが本堂の中央正面にある須弥壇です。

本 堂の正面にある壇を「須弥壇（しゅみだん）」と言います。あらためて写真で見るとやっぱりご自宅のお仏壇に似ていますね。須弥壇とは、むかしのインドの人が考えていた世界の中心「須弥山（しゅみせん）」という山をかたどったものと伝えられています。今でこそ、世界は太陽系であったり、球形の地球を思い浮かべますが、仏教ではむかしのインド人の世界観の影響から、須弥山を中心にした世界を土台としています。仏様はこの頂上におられると考えています。ですから、須弥壇の上にご本尊様がお祀りされています。



◀ 古代インドの宇宙観
中央に須弥山がそびえる半円球の大地を三頭の象が支え、その象は巨大な亀の甲羅の上に乗っています。その全体をかこう蛇。なんとも不思議な宇宙観です。仏教の世界観は古代インドの宇宙観をベースにしています。

POINT

金輪際（こんりんざい）とは仏教の宇宙観が語源の仏教語です。

本 虚空（こくう）の上に、風輪・水輪・金輪という円盤状のものが乗っかり、その上に須弥山がそびえているとされています。「金輪際あなたとは会いません」という金輪際（こんりんざい）とは、金輪と水輪が接する、もっとも奥底のこと。現在では「決して」という意味で使われています。

▶ こんな映画を観ました！

▶ 『LIFE! / ライフ』 監督・主演：ベン・スティラー

と にかく元気の出る映画！「単調な毎日だけど生きているってなんだろう」そんな、私たちがふとしたときに感じる思いに正面から向き合った物語です。主人公は『LIFE!』という雑誌社でネガフィルムの管理をしているしがない社員なのですが、最終号の表紙写真のネガを求めて世界に旅立ちます。大自然の中を、スケボーでヘリで船で疾走する姿は爽快感いっぱい。観終わった後に前向きな気持ちになれます。年を重ねるほど、好奇心が失われてゆくような気がしますが、いっけん平凡そうな日常も自分の意識しだいで冒険に満ちたものになる。その一步を踏み出す勇気、一瞬を大切に生きる尊さ、そうしたことを思いださせてくれる映画です。いつもはおフザケばかりのコメディアンであるベン・スティラーですが、物語が進むにつれて精やかな姿になっていくのも必見です。

